



2023年8月10日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 加 藤 友 彦
 (コード番号5337 東証スタンダード)
 問合せ先 総務部長 田 中 靖 久
 (TEL (06)4795-5000)

営業外費用の発生、第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年12月期第2四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)において、営業外費用の発生及び2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との間に差異が生じ、また、2023年12月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の内容

持分法による投資損失

第2四半期連結累計期間において、第1四半期に引き続き、持分法適用関連会社SRE Technologies Inc.の持分法による投資損失66百万円を営業外費用に計上いたしました。

2. 2023年12月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異

(2023年1月1日～2023年6月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,370	△ 450	△ 480	△ 500	△15円31銭
今回発表実績 (B)	2,612	△ 394	△ 435	△ 444	△13円78銭
増減額 (B-A)	242	56	45	56	
増減率 (%)	10.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	2,175	△ 505	△ 496	101	3円42銭

3. 連結業績予想の修正

(1) 2023年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,760	△ 530	△ 590	△ 630	△19円29銭
今回修正予想 (B)	6,760	△ 530	△ 590	△ 700	△21円71銭
増減額 (B-A)	0	0	0	△ 70	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	4,644	△ 1,044	△ 1,082	△ 370	△12円49銭

4. 差異及び修正の理由

2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、タイル事業においては、販売体制の強化及び指定力の向上、高付加価値商品の拡販による利益率の改善に努めた結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は前年同四半期を上回る等、順調に成果として表れており、売上高203百万円及び営業利益33百万円、また、不動産事業においては、日本への渡航制限が緩和されたことを受け、主要顧客である海外投資家が投資再開に向けた動きを活発化させており、受託資産の拡大に努めた結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高39百万円及び営業利益26百万円、当初の予想より上回る結果となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記記載のとおり、営業外費用に持分法による投資損失66百万円を計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想を56百万円上回る結果となりました。

通期の業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益については、当初予想を修正いたしません。連結子会社タッチストーン・キャピタル・マネージメント株式会社及びダントーテクノロジー株式会社の第三者割当増資による当社持分の変動に伴い、非支配株主に帰属する四半期純利益を修正したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益を上記のとおり修正いたしました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上